

市立三次中央病院

医学生 臨床研修Ⅱ（2週間コース）

研修プログラム

産婦人科

【市立三次中央病院産婦人科の概要】

市立三次中央病院は自然豊かな三次に位置し、その立地から広島の県北区域のみならず島根県からも患者さんが受診する、県北を代表する総合病院である。当院産婦人科は県北唯一の分娩施設であるということもあり、分娩数が多く正常分娩を学ぶのに最適な施設である。平均して週に10件程度の分娩を経験することができる。

また、当院はがん拠点病院の指定を受けており、産科だけでなく婦人科を含め、症例の偏りなく産婦人科全体の疾患を幅広く学ぶことができる。

手術では、帝王切開など開腹手術の他、腹腔鏡手術の症例もあり、最新の医療を積極的に導入している。研修中は手術の第二助手として手術に入り、間近に術野を感じていただく。

当科での研修中は、産婦人科の一員となったつもりでどんどん診療に関わっていただきたいと思っているので、是非有意義で充実したしかも楽しい研修にしてほしい。

【一般目標 GIO】

チーム医療を実践する医療者の一員として診療に従事することを通じて、医療者のもつべき7つの能力を学び、基本的なものを修得する。

7つの能力とは、1. 臨床技能、2. 公衆衛生、3. 科学的基礎知識、4. プロフェッショナリズム（態度）、そして、これらを支えるための、5. コミュニケーション能力、6. 情報管理、7. 批判的思考、をさす。

参考）Core committee, Institute for International Medical Education: Global minimum essential requirements in medical education, Med Teach 24: 130-135, 2002.

【到達目標（行動目標） SBO s】

- 1) コミュニケーションを通じ、患者および家族と良好な人間関係を築くことができる。
- 2) 基本的な診療知識に基づき、患者および家族から診療に必要な情報を収集し、取捨選択して整理できる。
- 3) 身体診察を適切に実施し、所見を解析してその後の診療に必要な情報を収集できる。
- 4) 主要な症候を理解したうえで、鑑別診断の原則に基づいて以後の診療の計画を、指

市立三次中央病院

導医とともに立案することができる。

- 5) 産婦人科領域で用いられる主要な検査について、概要、有用性、限界、危険性を説明し、結果を解釈できる。
- 6) 産婦人科領域における主要疾患について、症候、病態、診断、治療を説明できる。
- 7) 収集した情報を基に、POMR<問題志向型診療記録>を作成できる。
- 8) 症例を要約する習慣を身につけ、状況に応じて適切な長さで提示することができる。
- 9) 診療に必要な知識・情報（MEDLINE やインターネット上で公開されている各種の診療ガイドライン等の電子化情報を含む）を、適切に検索・収集することができる。
- 10) 医療チームの構成や各構成員（医師、薬剤師、看護師、その他の医療職）の役割分担と連携・責任体制について説明し、チームの一員として参加できる。

【注意事項】

- 1) 端正な服装を心がけ、清潔な白衣を着用すること。ネームプレートを付け、靴を履くこと（サンダルは禁止）。
- 2) 患者さんや他の医療スタッフと接する際には大人としての礼節を保ち、態度、言葉遣いに気を配ること。特に、患者さんと接する際には、実習に協力していただくことに対する感謝の気持ちを忘れないこと。
- 3) 守秘義務、個人情報の管理には常に留意し、患者さんのプライバシー保護にも気を配ること。また、予断や想像に基づく無責任な情報は決して伝えないこと。
- 4) 欠席、遅刻の場合は必ず届け出ること。

【実習の内容 LS】

- 1) オリエンテーション：
第1週の月曜日午前中にオリエンテーションを行い、ポートフォリオを配布する。
一実習中に学んだこと、体験したことを実習中毎日漏らさず記入すること。
また、実習中に調べた知識や検索した文献なども、すべて綴じ込みこと。
- 2) 病棟業務における、指導医とのチーム医療の実践：
一第1週の月曜日に指導医を割り当てる。
一以後は実習期間中、常時指導医と行動を共にすること。
一指導医の受け持つ患者と一緒に診療し、指導医の属する医療チームの1人として入院から退院までの医療に参加すること。
一具体的にどのような診療行為を行うかは、逐一指導医の指示を仰ぎ、従うこと。
- 3) カルテ記載：POMR の実践

市立三次中央病院

—病歴聴取や診察で得た所見，また，その後行われた検査の結果や今後の治療方針など，主治医がカルテに記載すべき事柄については，すべて学生用の紙カルテに記載すること。

—これは医師が実診療に使うカルテ（電子カルテ）とは別物であるが，主治医として実際に診療用のカルテを書いているつもりで，すべての情報を漏らさず正しい書式で記載すること。

4) 病棟でのベッドサイド回診：

—ベッドサイドないし回診前の打ち合わせにて，患者の概要と現在の治療の進行状態を簡潔に提示する。

5) カンファレンスでのプレゼンテーション：

—毎火曜日 16：00 頃 3F 東病棟カンファレンスルームにて行う。

—最初の火曜日に出席して準備と発表の手順を把握すること。

—指導医の指定した症例について，主治医の代わりに症例提示を行うこと。そのために，既定の時間内で発表できるよう患者情報をまとめ，事前に準備しておくこと。

6) ポートフォリオ

—毎日記載し，実習日誌「毎日の振り返り」について，毎日終わらないし，翌日の朝に指導医のコメント・署名をもらうこと。

【週間スケジュール】

	月曜日	火曜	水曜日	木曜日	金曜日
8:30	朝カンファ (場所:3F 東)	朝カンファ (場所:3F 東)	朝カンファ (場所:3F 東)	朝カンファ (場所:3F 東)	朝カンファ (場所:3F 東)
午前	病棟・施設案内 (場所:3F 東) 手術 (場所:手術室)	外来 (場所:外来)	がん検診 外来で問診 (場所:外来)	手術 (場所:手術室)	外来 (場所:外来)
午後	手術 (場所:手術室)	入院担当 カンファ 抄読会 (場所:3F 東)	産褥健診 (場所:外来)	手術 (場所:手術室)	外来 (場所:外来) 総括

【評価 Ev】

10項目の到達目標（SBO s）が実習中にどの程度達成されたかを評価する。

市立三次中央病院

- ① 指導者（医師・看護師・事務職・技術職技師）による，医療者としての行動（パフォーマンス）・態度の評価（20点）
- ② ベッドサイド（ないし直前打ち合わせ）での患者提示のでき具合（10点）
- ③ カンファレンスでのプレゼンテーションの内容（15点）
- ④ 記載したカルテの内容の評価（15点）
- ⑤ ポートフォリオの内容の評価（15点）
- ⑥ 当科領域に関する知識到達度テスト（15点）
- ⑦ 最終日での諮問による理解度をチェック（10点）

以上の7項目について採点して総合評価（100点満点）を行う。

【参考図書，文献】

標準 産婦人科学	医学書院	OGS③帝王切開術
病気がみえる 産科・婦人科	メディックメディア	メディカルビュー
STEP 産婦人科	海馬書房	

など，図書室にあるもの・インターネットで参照できるもの

【産婦人科医師一覧・専門領域などの紹介】

熊谷 正俊 （産婦人科医長）

張本 姿 （産婦人科医員）

藤田 真理子 （産婦人科医員）

西本 祐美 （産婦人科医員）

【診療カルテ（追補）】

当院共通の学生実習用カルテに加え，以下の記録用紙も使用する。

